

三つ目の DATABASE

小川 義博

平成十一年 笑門来福落語切手

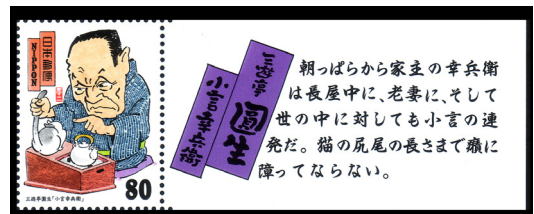
時間だけがあり余ると感じる超高齢者に近づく我が生活を豊かにしてくれる DATABASE がある。切手と厠の DATABASE は会報紙面を汚してきたことで会員諸兄姉はご存じのことと思う。もう一つ、加齢につれて存在感を増してきたのが三つ目の落語 DATABASE である。小学生時代から年に 1、2 回、父に上野鈴本演芸場に連れて行かれ色物から徐々に落語に親しんでいった。建て替え前の鈴本の打ち水を打たれた通路から玄関先で、時に二階の畳席のために下足札を渡されたことが懐



かしく思い出される。切手研時代に落語を再認識させられる機会に恵まれた。大隈講堂での落語会である。当時、まだ二つ目だった古今亭志ん朝の古今亭朝太が出演して、それまで志ん生、柳橋、文楽、可楽等ベテランの噺・演目を聞きなれた耳には非常に新鮮なものであった。これが落語への関心を再び呼び起こした。都内でも区立図書館として最も豊富に音源媒体を所蔵してる図書館が近所にあったので本を利用するついでに落語の音源を借りて記録を増やしていった。そのうちカセットテープが増えすぎたのでデジタル記録の MP3FILE にして PC のディスクに集合させた。定年までこんな形で落語を楽しんでいたうちに MP3FILE は 1000 を超えてしまっていた。

定年後は生の落語に接したく、早朝に TBS 前の行列に並び、「TBS 落語研究会」の年間チケットを Get して月 1 回の高座を楽しみ、MP3FILE の DATABASE 作成に取り掛かった。他の 2 つの DATABASE は 15 の KEYWORD で文字情報と画像を表示するものだが、落語 DATABASE の最終目標は検索された噺家・噺の表示画面で FILE の音声再生が可能な機能を持たせることである。DATABASE の基本形は過去のプログラムを少しかえるだけであったので時間をかけずに噺家・噺表示はできたが、問題は音声の再生であった。取り組んでみたがとても私の能力では無理なことが判り断念、10 年程度片手落ちの DATABASE を作り続け、DATA 数は収集癖のなせる業、約 4000 を超えてしまい、噺家別の FOLDER で整理しても再生作業の簡便化は焼け石に水、再チャレンジで再生機能に悪戦苦闘しているなか、AI の話を知り飛びついた。CHATGPT である。1 回のアクセスへの回答で即、問題解決。目的とした再生が簡単にできる DATABASE が完成した。その AI 能力には愕然とした。落語 DATABASE パソコン寄席 .xlsm のマクロ対応 EXCEL FILE である。やはり音源 DATAFILE が重く 128GBUSB にやっと収まった。

この DATABASE の構成は基本事項、検索、音源 DATA の 3 つの SHEET だけで構成

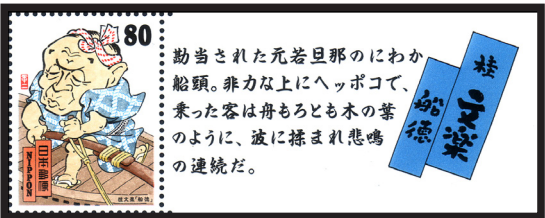


されている。**基本事項**は最低限作業に必要な事項を知る SHEET、**音源 DATA** は対象とする音源 FILE がすべてリストアップされており約 4000 行になる大きな SHEET。**検索**は落語 FILE を検索し落語を楽しむ SHEET である。検索機能は他の DATABASE と異なり KEYWORD は噺家と噺・演目の二つだけとして、これは FILE 名に入れて検索対象とできるようにした。これは同一噺家、噺・演目でも時期、高座等が異なると内容に変化があるからである。(志ん朝 愛宕山 東横落語会 .mp3、志ん朝 愛宕山 大須演芸場 .mp3 のように)

具体的に検索 SHEET は図 1 のように入力は噺家か、噺・演目の 1 つ、若しくは両方を入力し、**CTRL + S** で検索を行い、表示された DATA の D 列セルをクリックして **CTRL + P** で演目が再生を始める。それまでのように FOLDER を探し、更に 70 以上もある FILE から希望演目 FILE を探し出し再生するという煩雑で面倒な作業から解放され気分よく落語を楽しめるようになった。談志の芝浜など 56 の噺家 FOLDER と談志の 430 の演目 FILE を探す必要が無くなった。まさに AI 様

様である。このような再生環境が出来たので新しい落語の楽しみ方ができるようになった。

先ず、同じ噺・演目を多くの噺家でどのように演じてるか簡単に比較することができるようになったことで楽しみ方が増えた。例えば、「船徳」は可楽、市馬、志ん朝、志ん輔、小さん、小三治、馬生、文楽、柳朝、鯉昇等 10 人以上が検索表示される。各師匠が多くあるくすぐりをすべては時間の問題もあろうが入れずに演じ、師匠の性格、話し方にあった工夫をしていたり、のどに自信のある師匠は舟唄、小唄などを織り交ぜていたりして情景を豊かに変化のある話にしている。また、同じ師匠が年齢、高座によって一つの噺・演目に変化を付けて演じていることに驚かされる。毎年、大晦日に「芝浜」を演じていた談志、落ちの、酒をすすめられて「やめよう、夢になるといけない」の前部分の夫婦の会話、





落語DATABASE

噺家の名を入力	船徳
噺・演目を入力	船徳
検索語数	1

このD列の希望行のセルを選択しCTRL+Pをクリック



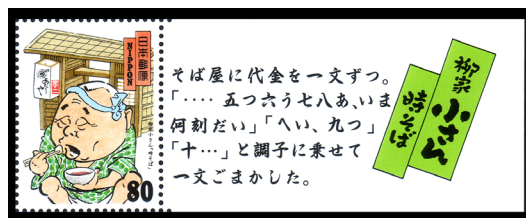
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
噺家	噺・演目	目的mp3FILE														
その他	船徳	F:\落語\その他\春風亭 小柳枝 船徳.mp3	中断、終了はCTRL+ Qをクリック 検索事項を入力してCTRL+ Sをクリックで検索													
その他	船徳	F:\落語\その他\春風亭 小柳枝 船徳.mp3														
たい平	船徳	F:\落語\たい平\たい平 船徳.mp3														
可楽	船徳	F:\落語\可楽\可楽 船徳.mp3														
市馬	船徳	F:\落語\市馬\市馬 船徳 一門.mp3														
市馬	船徳	F:\落語\市馬\市馬 船徳PCCG-01002.mp3														
志ん朝	船徳	F:\落語\志ん朝\志ん朝 船徳.mp3														
志ん朝	船徳	F:\落語\志ん朝\志ん朝 船徳.pk														
志ん朝	船徳	F:\落語\志ん朝\志ん朝 船徳(DVD下2).mp3														
志ん輔	船徳	F:\落語\志ん輔\志ん輔 船徳.mp3														
小さん	船徳	F:\落語\小さん\小さん 船徳.mp3														
小三治	船徳	F:\落語\小三治\小三治 船徳.mp3														
小三治	船徳	F:\落語\小三治\小三治 船徳2.mp3														
小三治	船徳	F:\落語\小三治\小三治 船徳.mp3														
馬生	船徳	F:\落語\馬生\馬生 船徳.mp3														
馬生	船徳	F:\落語\馬生\馬生 船徳13.mp3														
馬生	船徳	F:\落語\馬生\馬生 船徳3.mp3														

図 1. 検索 SHEET の画面
「船徳」を入力し、CTRL+S のマクロコマンドで表示、311 の mp3FILE がヒットされたうちの 17FILE



酒の肴、久しぶりの酒に語り掛けることば等に変化がありおもしろい。更に、旦那の義太夫演台場所が小僧の寝床の場所で寝られず涙を流し、「義太夫の内容でなく寝床が無くて泣いているんです。」という「寝床」で有名な**落ち**があのだ志ん生の噺には無く、番頭が旦那の義太夫からドイツに逃れるという**落ち**になっているように**落ち**が異なることがみられる。

10年ぐらい前から落語に新たな試みがされた。それは噺家の音声だけを聞かされ、噺の内容をストーリーとなった無声映画に見せるものである。最初に志ん朝の「文七元結」を見た。4、5年前落語ザムービーという番組が20～30噺程TV放送された。これを見ると、後日、耳からだけの噺を聴くと、従来の頭の画像イメージに混乱が起きて何かすっきり楽しめず心から笑えないのである。しばらくしてこの後遺症ともいえるモヤモヤは消えていったが、やはり落語の良さは聴く側の自由なイメージによらなければと考える。これに関連するが、これは落語の噺・演目をネタにつくられたなどと思わせる程度の作品が落語のイメージを壊さない限度であらうか。例えば、「居残り佐平治」を映画化した「幕末太陽伝」、そして「三方一両損」「井戸の茶碗」を大岡越前のドラマにした「名裁き三方一両損」、「頑固くらべ茶碗騒動」等



が思い浮かぶが、これらは前者の無声映画の落語動画ほど頭の中のイメージに混乱は感じさせない。

落語は噺家の表情、所作などが見られる寄席で楽しむに限るが、事情もあり最



図2「幕末太陽伝」のポスター
フランキー堺、石原裕次郎等の顔が見える。

近はTVからダビングして時に楽しんでいるがこちらも難しい。耳だけでなく目も求められるからだ。目が無くなると所謂ながら作業ができない。これが我がDATABASEを利用するといつでもながら作業ができる。落語を聴きながら切手の整理をしたり。切手DATABASE作業ができるのである。その中で噺家の所作を知りたくなった時にDVDを探し求める落語生活を送っている。加えて、最近楽しんでいるのが落語に関する本を読みながらを書かれてる噺家・噺を検索して容易に確認しながら読み進めることができることである。例えば、中公新書「今夜も落語で眠りたい」では46の師匠・噺が紹介されている



が、組合せがヒットしないのは1つだけであった。まあ、このあたりでDATA集めはトリにしてゆっくり落語をたのしむこととした。今夜も枕元のPCから聞こえる落語で眠りにつこう。

落語を愛する会員に楽